



「良書ご案内」

書籍名	ミッドナイト・ライブラリー	著者名	マット・ヘイグ
出版社名	ハーパーコリンズ・ジャパン	発行年月	2022年2月

1998年から2011年までの14年間の自殺者は、年間3万人を超えた。1978年度では2万人強のため、20年間で1万人増えたことになる。最近では2万人台前半で推移している。その自殺者の7割近くが男性だ。年代は、40～60歳代で50%を占めている。原因・動機は、①健康問題 ②経済問題 ③家庭問題と続く。職業別では無職者が60%を占めている。月別では平均しているが、あえて言えば12月、2月の自殺は少ない傾向にある

自殺率(人口10万人当たりの自殺者数の割合)は、国民の幸福度ををはかる重要な指標と言われているが、世界の自殺率ランキング(2016年度調査)では、ロシアが1位、日本は7位でG7の中ではトップにある。ほぼすべての国で男性の方が女性よりも自殺率が高い。若い世代(15歳から39歳)で死因の第1位が自殺となっているのは、先進国(G7)では日本のみ、その死亡率も他の国に比べても高いものとなっている。世界的に見れば経済的にも恵まれ、安心・安全な環境にあつて、日本の若者はなぜ自ら死を選ぶのだろうか？

私たちは大小の違いはあるが、日々多くの決断をしている。その決断の積み重ねが、かけがえのない人生となる。チェスのゲームでは、6手指し終わった時点で、実に9百万通りの可能性があり、8手目まで進むと2880億の違った展開があるという。私たちは天文学的な可能性を潜り抜けて今生きている。日々の選択の結果、人は必ず多くの後悔を残したまま生きている。もしあの時に、違う決断をしていたら…そんな思いが私たちを苦しめることになる。もし後悔をやり直せるとしたら…

本書は、主人公のノーラが死を決意する27時間前から始まる。ノーラは、人生に絶望していた。「こんな人生ではなかったはずだ」、と思っている。自分は人生に向いていなかった。自分はもう、明日など迎えたいとは欠片も思っていない。ノーラが迷い込んだ真夜中の図書館は、生と死の間にあつて、無限の可能性のある人生が、書籍となって並んでおり、後悔をやり直せるチャンスをくれるという。後悔のない人生など誰にもない。ノーラは絶望の中で、どのような人生を選んだのだろうか？

岩城



編集後記



コロナ禍もある程度?落ち着いたのか、慣れたのか、どこも人出が多く、高校野球観戦も、お盆の帰省もリアルな声出し応援、リアルな対面があつてよろし!と思うのは不謹慎でしょうか?!そこへ、あるニュース番組の「第46回 新宿三井ビルディング会社対抗のど自慢大会 4年ぶりに開催!」の特集が目飛び込んできました。ステージは意外にも、55HIROBAにて。ここは新宿三井ビルディングの公開空地という位置付け、周囲の道路や歩道のレベルから数m下がった所に位置しているからサック(沈んだ)ガーデン(庭)と言われ、一度訪れた人ならわかるが、なぜか居心地よく都心のポケット的存在で癒される空間なのだ。そこがすさまじい熱気に包まれ、1974年に竣工されて以来、翌年から毎年、行われてきた"新宿の会社員の夏フェス"演者は入居テナト企業44社、総勢75組213名による熱い熱い企業対抗カラオケ大会なのだ。4年ぶりなので応援も練習も熱が入る。参加者は1社3チームまでのため厳正なる社内選考を実施し、8/23・24の予選→25日決勝大会。たった20組しか勝残れないため決勝進出發表時に社内メンバーと歓喜する者あり、悔し涙する者あり、他社の雄姿を互いに称え合う姿ありと、甲子園大会も真っ青な大人の真剣勝負。歌の途中で舞い上がる大量の紙吹雪は各企業から出たシュレッダーゴミ、賞品は全てテナト企業からの協賛品で、旅行券、家電、ゲームソフト等豪華賞品の数々。この催しが目当てで、当該テナト企業に入社希望?、親子で偶然にもこのビル勤務、但し父親の歌など息子は聞かず等、悲喜こもごものドラマがあるようだったが。優勝曲は絢香×コブクロ/WINDING

発行所：株式会社ライフデザイン研究所

ROAD、さて、皆様はどんな熱い夏を過ごし、何を思う夏でしたか？

所在地：〒541-0048 大阪市中央区瓦町3-4-8アビビル2F Tel 06-4708-6844 Fax 06-4708-7067 編集人 伊藤